



218 ページ 小テスト 無名草子「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 後醍醐天皇 >
- 無名抄 >
- 正徳物語 >
- 無名草子 >

源氏物語玉の小櫛

- 花鏡 >
- 虚実皮履論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 藤村 >
- 去来抄 >
- 三冊子 >
- 古事記 >
- 万葉秀歌 >
- 雨月物語 >
- 『小倉百人一首』の注釈を読む >

220ページ 小テスト 源氏物語玉の小櫛

ボタン位置 切りかえ

「ものあはれの論」の文として、空欄に当てはまる語句を選べ。

さて、物語はものあはれを知るを宗とはしたるに、その筋に至りては、()の教へには背けることも多きぞかし。

漢意

古典

儒仏

雅び

メニューへ 1/5

220ページ 小テスト 源氏物語玉の小櫛「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 俊賴朝臣 >
- 無名抄 >
- 正徳物語 >
- 無名草子 >
- 源氏物語玉の小櫛 >
- 花鏡**
- 虚実皮類論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 藤村 >
- 去来抄 >
- 三冊子 >
- 古事記 >
- 万葉秀歌 >
- 雨月物語 >
- 『小倉百人一首』の注釈を読む >

223ページ 小テスト 花鏡

ボタン位置 切りかえ

「初心を忘るべからず」の文として、
空欄に当てはまる語句を選べ。

是非初心を忘るべからずとは、(1)
の初心を忘れずして身に持ちてあれ
ば、(2)にさまざまの徳あり。

①先車 ②後車

①若年 ②老後

①前々 ②後々

①今 ②後心

メニューへ 1/5

223
ページ 小テスト
花鏡「クイズ」

The screenshot shows a digital library application. At the top, there is a navigation bar with 'ホームへ' (Home) and '書名入る' (Search by title). Below this is a sidebar menu with various book titles, including '宇治拾遺物語', '発心集', '紫式部日記', '和泉式部日記', '十六夜日記', '源氏物語(二)', '大鏡(二)', '俊賴朝編', '無名抄', '正徳物語', '無名草子', '源氏物語玉の小櫛', '花鏡', '虚実皮膜論', '落窪物語', '堤中納言物語', 'とつかへばや物語', '芭蕉', '藤村', '去来抄', '三冊子', '古事記', '万葉秀歌', '雨月物語', and '『小倉百人一首』の注釈を読む'. The main area displays search results for '虚実皮膜論', showing two entries: '225ページ 小テスト 虚実皮膜論' and '225ページ 古典芸能への誘い'. The '虚実皮膜論' entry is highlighted.

The screenshot shows a quiz interface. The main text area contains the question: 「難波土産」の成立時期として、**適当**なものを選べ。 (Choose the appropriate one for the establishment period of 'Naniwa no Uchiwaza'). To the right, there are four buttons representing different eras: '江戸時代' (Edo period), '鎌倉時代' (Kamakura period), '南北朝時代' (Nanpoku period), and '室町時代' (Muromachi period). The interface includes a 'メニューへ' (Menu) button at the bottom left, a 'ボタン位置切りかえ' (Change button position) button at the top right, and a page indicator '1/5' at the bottom right.

225ページ 小テスト 虚実皮膜論 「クイズ」

古典芸能

への誘い

日本人は、古来、歌をうたい、楽器を演奏し、舞い踊り、演劇を楽しんできた。現代まで伝承され、親しまれてきた起るの古い芸能に触れ、伝統の世界の魅力を味わってみよう。

能

室町時代に流行した猿楽は、大和地方（今の奈良県）を中心にして、金春・金剛・宝生・観世の四つの座（劇団）が有名であった。観世座の観阿弥・世阿弥父子によって大成されたのが能である。足利將軍家や豊臣秀吉が愛好し、江戸時代になると幕府の庇護を受けて式楽とされ、今日の様式ができあがった。現在では喜多流が加わって、四座一流といわれる。

能とは、謡と囃子にのって、役者の舞踏的な所作により進行する歌舞劇であり、多くは面（能面）を用いる仮面劇でもある。

主役をシテという。前半と後半で主役が姿を変える場合、それぞれ前ジテ・後ジテと呼ばれる。ワキは主役の相手となり、ストーリーを進行させる役である。

能 『野宮』

『源氏物語』「葵」「賢木」の巻に取材した作品で、金春禪竹作とされる。嵯峨野の野宮の旧跡を訪れた旅僧の前に六条の御息所の霊が登場し、野宮への光源氏の来訪や、車争いで葵の上一行から受けた屈辱などについて語り、懐旧に浸って舞を舞う。舞台の正面に野宮の鳥居の作り物（舞台装置）が据えられるのが特徴である。



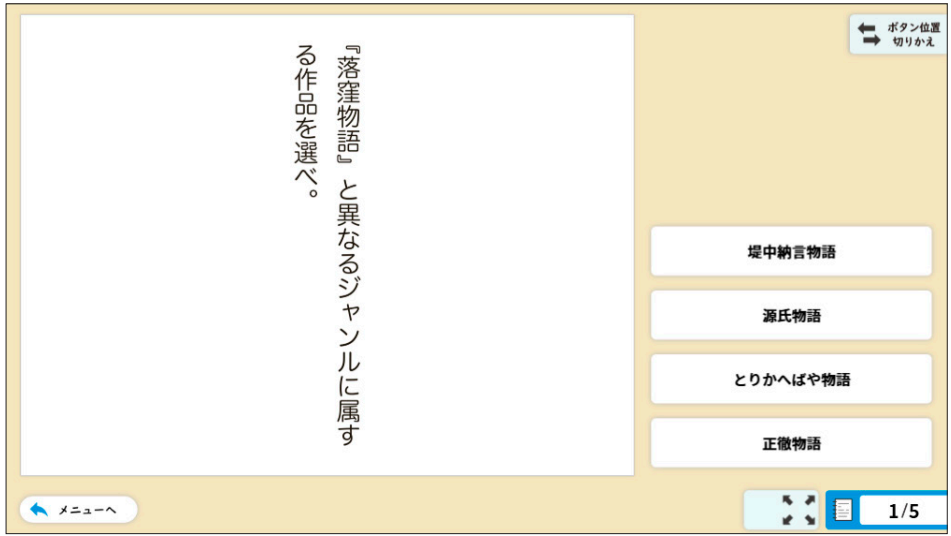
狂言

狂言は、室町時代に生まれた台詞劇である。能と組み合わせる上演されることが多い。象徴的な歌舞劇である能に対し、狂言は台詞を中心に進行していく写実的な演劇といえる。仮面が用いられる場合もあるが、役者は素顔で登場することが多い。ほとんどの作品が、たくましい庶民の姿を描いている。なお、狂言には現在、大蔵流・和泉流の二つの流派があり、同じ演目でも演出が異なる場合がある。

狂言 『棒縛』

留守中に太郎冠者・次郎冠者の二人の召し使いが酒を盗み飲みするので、主人は一計を案じ、出かける前に二人をだまして一人の腕を棒に縛り付け、もう一人も後ろ手に縛ってしまう。しかし、主人が不在の間に二人は協力し合って縛られたまま酒を飲み、酔って舞い謡う。そこへ主人が帰宅し、叱られて騒ぎとなる。





228ページ 小テスト 落窪物語「クイズ」

ホームへ

古文鑑賞

231ページ 小テスト 堤中納言物語

字治拾遺物語 >

発心集 >

紫式部日記 >

和泉式部日記 >

十六夜日記 >

源氏物語(二) >

大鏡(二) >

俊賴朝臣 >

無名抄 >

正徳物語 >

無名草子 >

源氏物語玉の小櫛 >

花鏡 >

虚実皮隠論 >

落窪物語 >

堤中納言物語

とつかへばや物語 >

芭蕉 >

萬村 >

去來抄 >

三冊子 >

古事記 >

万葉秀歌 >

雨月物語 >

『小倉百人一首』の注釈を読む >

メニューへ

ボタン位置
切りかえ

「きびしき片つつ方」とは誰を指すか。

父

本妻

姫君

子ども

メニューへ

1/5

231
ページ
小テスト
堤中納言物語
「クイズ」

ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語
- 発心集
- 紫式部日記
- 和泉式部日記
- 十六夜日記
- 源氏物語(二)
- 大鏡(二)
- 後醍醐天皇
- 無名抄
- 正徳物語
- 無名草子
- 源氏物語玉の小櫛
- 花鏡
- 虚実皮隠論
- 落窪物語
- 堤中納言物語
- とりかへばや物語
- 芭蕉
- 藤村
- 去来抄
- 三冊子
- 古事記
- 万葉秀歌
- 雨月物語
- 『小倉百人一首』の注釈を読む

235ページ 小テスト とりかへばや物語

ボタン位置
切りかえ

「大将」の説明として、
適当なものを
選べ。

近衛府の長官。

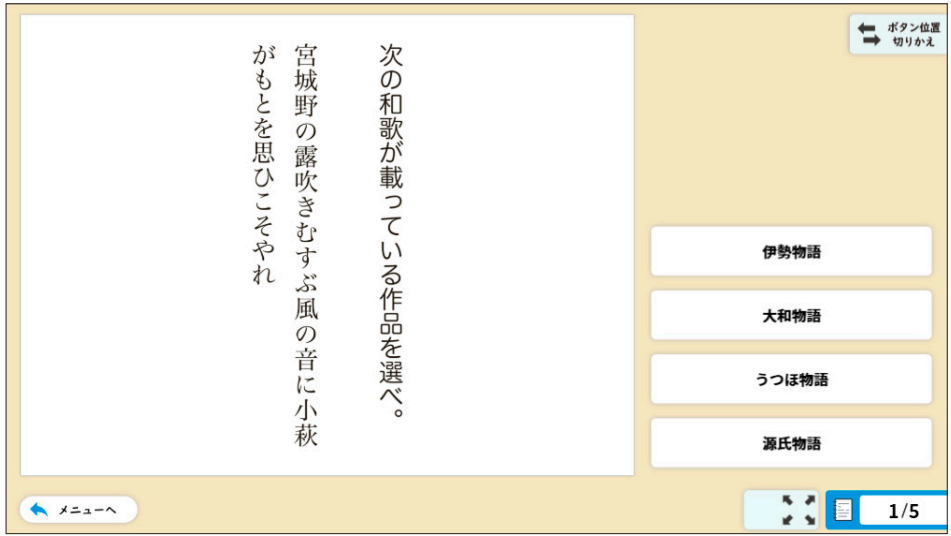
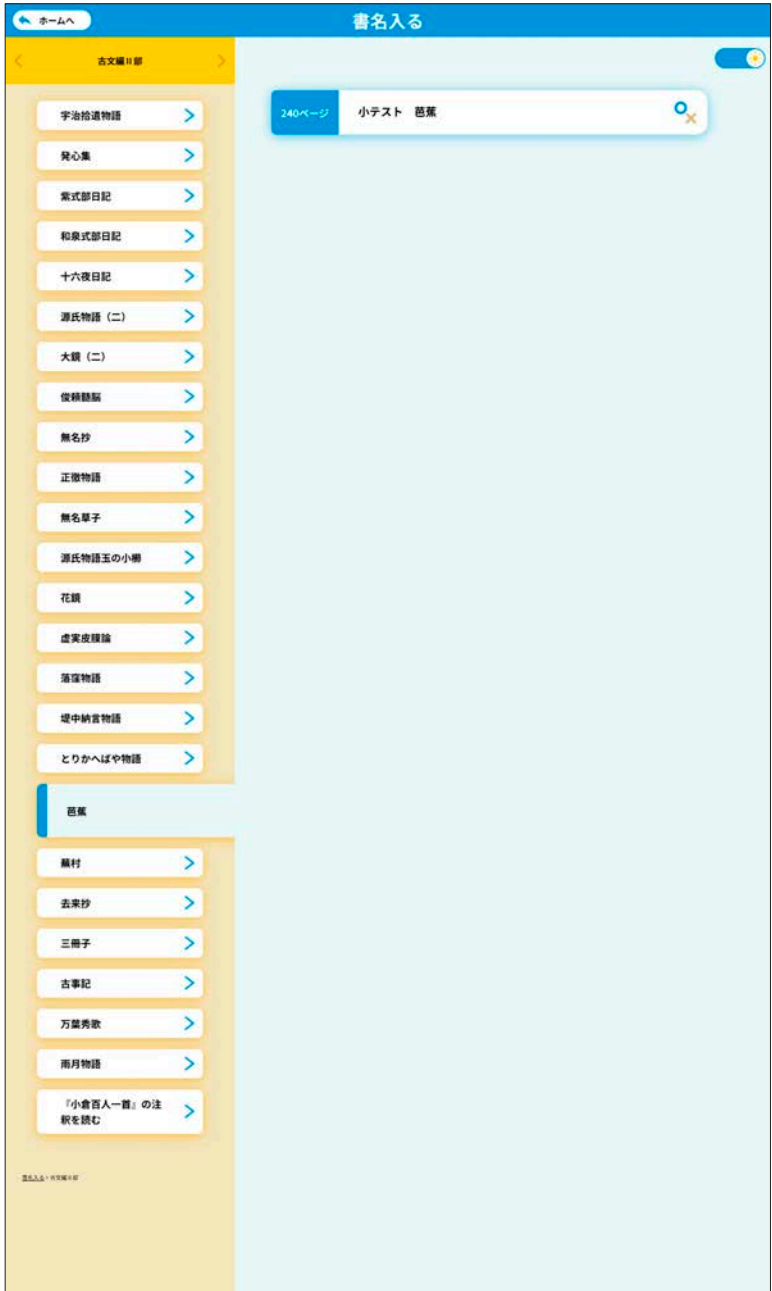
蔵人頭。

定員外に任じられる大納言。

首席の大納言。

メニューへ 1/5

235
ページ
小テスト
とりかへばや物語「クイズ」



240ページ 小テスト 芭蕉「クイズ」

ホームへ

書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 俊賴朝臣 >
- 無名抄 >
- 正徳物語 >
- 無名草子 >
- 源氏物語玉の小櫛 >
- 花鏡 >
- 虚実皮隠論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 蕪村
 - 去来抄 >
 - 三冊子 >
 - 古事記 >
 - 万葉秀歌 >
 - 雨月物語 >
 - 『小倉百人一首』の注釈を読む >

243ページ 小テスト 蕪村

ボタン位置
切りかえ

「月夜の卯兵衛」の文として、空欄に
当てはまる語句を選べ。

(①) の国より (②) の方へ
通りけるに、山中にて日暮れければ、
からうじて九十九袋といへる里に辿
り着きて、宿り求めぬ。

①出羽 ②陸奥

①信濃 ②越後

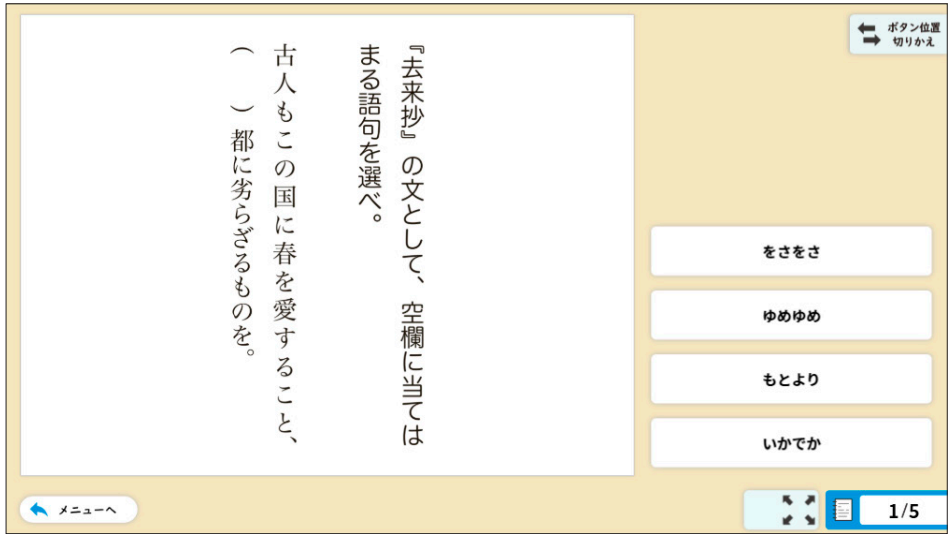
①陸奥 ②出羽

①越後 ②信濃

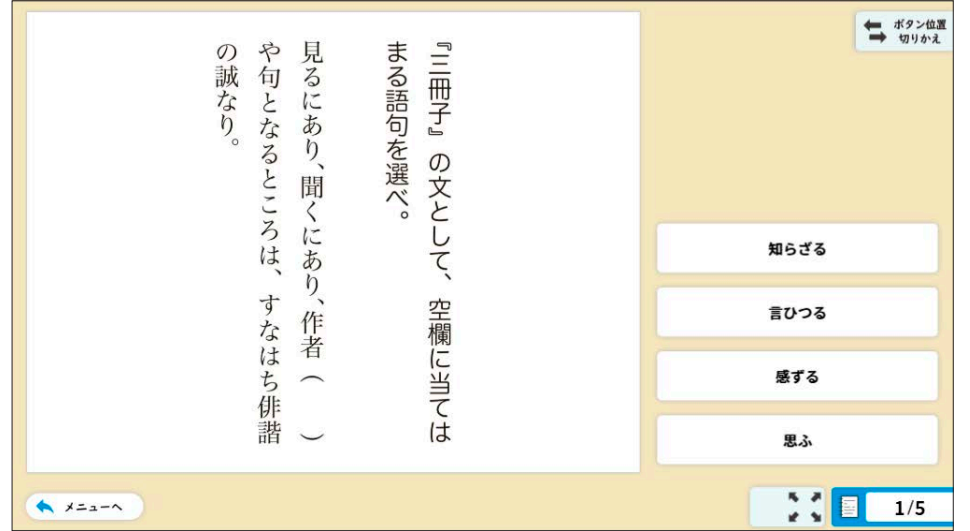
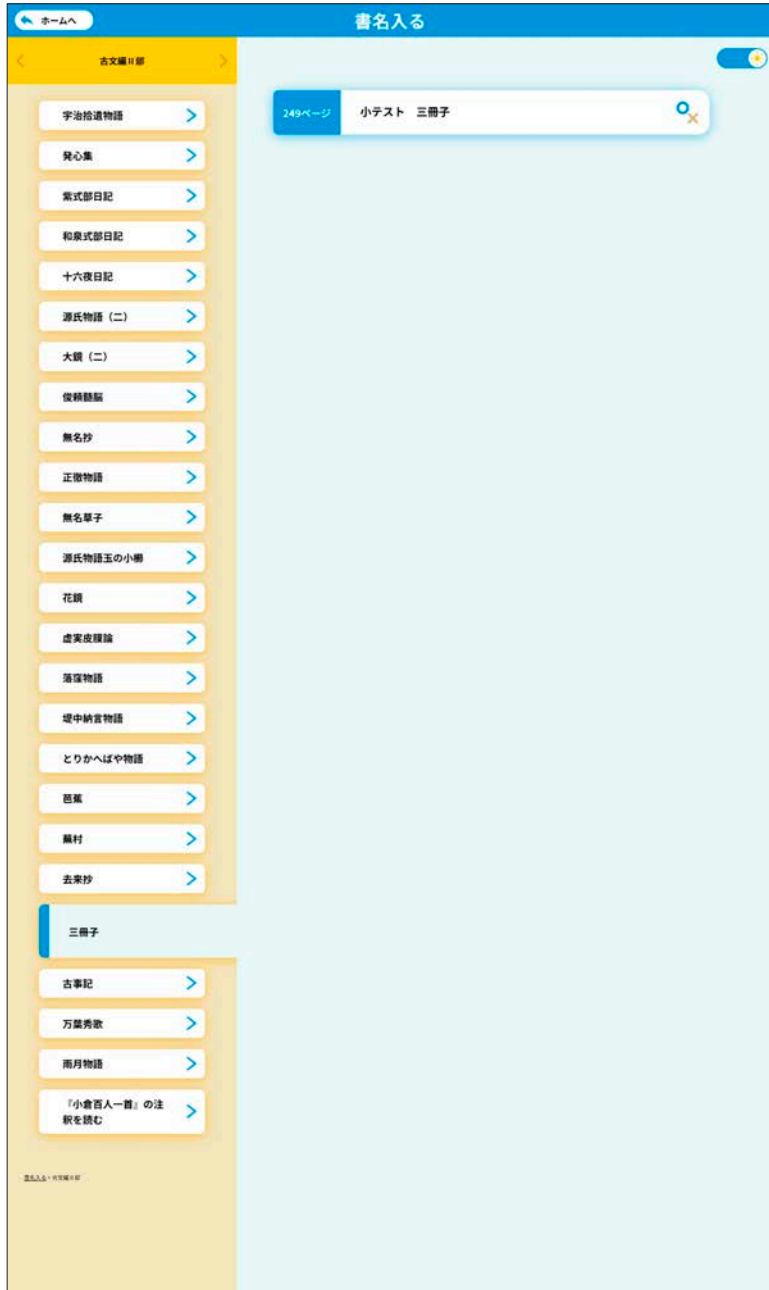
メニューへ

1/5

243
ページ
小テスト
蕪村
「クイズ」



245ページ 小テスト 去来抄「クイズ」



ホームへ

書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 俊賴朝臣 >
- 無名抄 >
- 正徳物語 >
- 無名草子 >
- 源氏物語玉の小櫛 >
- 花鏡 >
- 虚実皮隠論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 藤村 >
- 去来抄 >
- 三冊子 >
- 古事記
- 万葉秀歌 >
- 雨月物語 >
- 『小倉百人一首』の注釈を読む >

254ページ 小テスト 古事記

ボタン位置
切りかえ

「倭建命」の文章として、空欄に当てはまる語句を選べ。

「吾、御子に代はりて、海の中に入らむ。御子は、遣はさえし政を遂げ、（ ）（ ）べし。」

覆奏す

上奏す

御合す

言向けす

メニューへ

1/5

ホームへ 書名入る

古文庫目録

- 宇治拾遺物語 >
- 発心集 >
- 紫式部日記 >
- 和泉式部日記 >
- 十六夜日記 >
- 源氏物語(二) >
- 大鏡(二) >
- 俊経隠居 >
- 無名抄 >
- 正徳物語 >
- 無名草子 >
- 源氏物語玉の小櫛 >
- 花鏡 >
- 虚実皮隠論 >
- 落窪物語 >
- 堤中納言物語 >
- とりかへばや物語 >
- 芭蕉 >
- 藤村 >
- 去来抄 >
- 三冊子 >
- 古事記 >
- 万葉秀歌**
- 雨月物語 >
- 『小倉百人一首』の注釈を読む >

259ページ 小テスト 万葉秀歌

ボタン位置 切りかえ

有間皇子の歌(14番)として、空欄に当てはまる語句を選べ。

岩代の浜松が枝を引き結び真幸く
() また還り見む

あるに

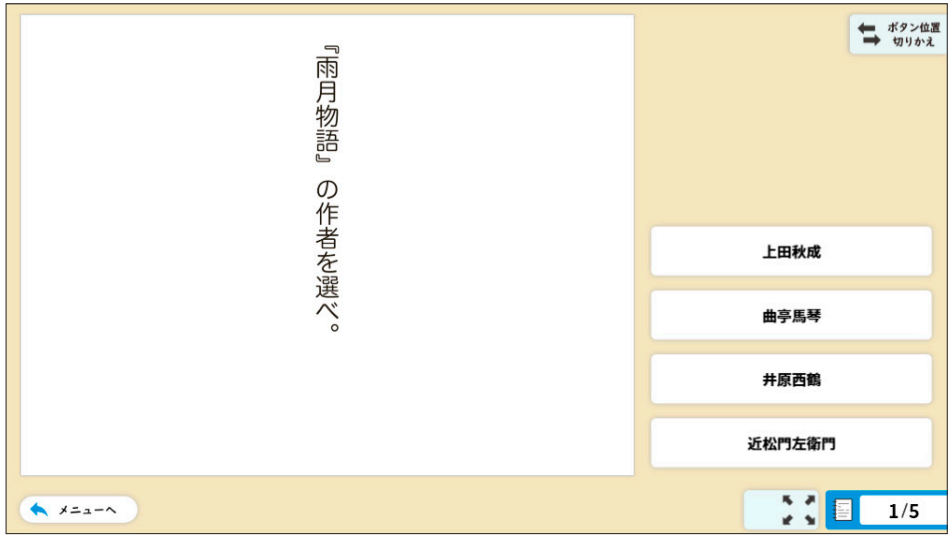
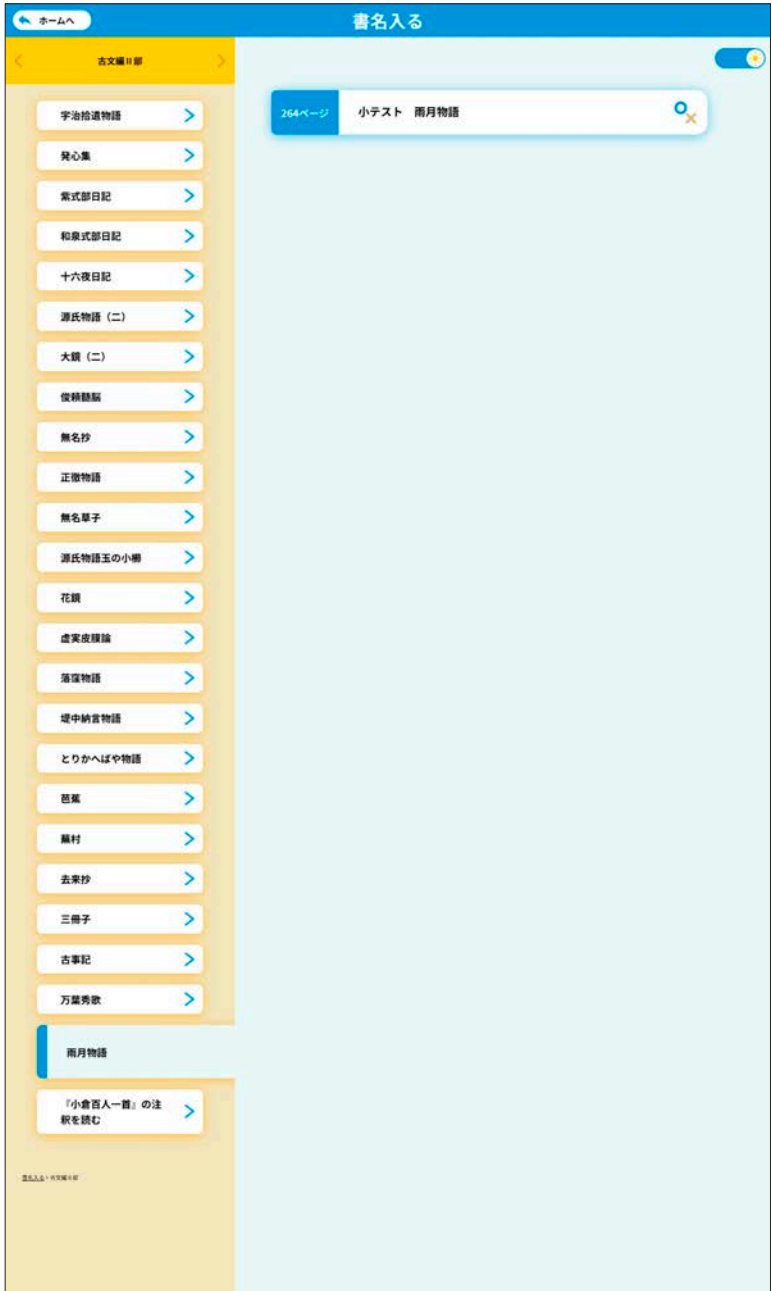
ありて

あらば

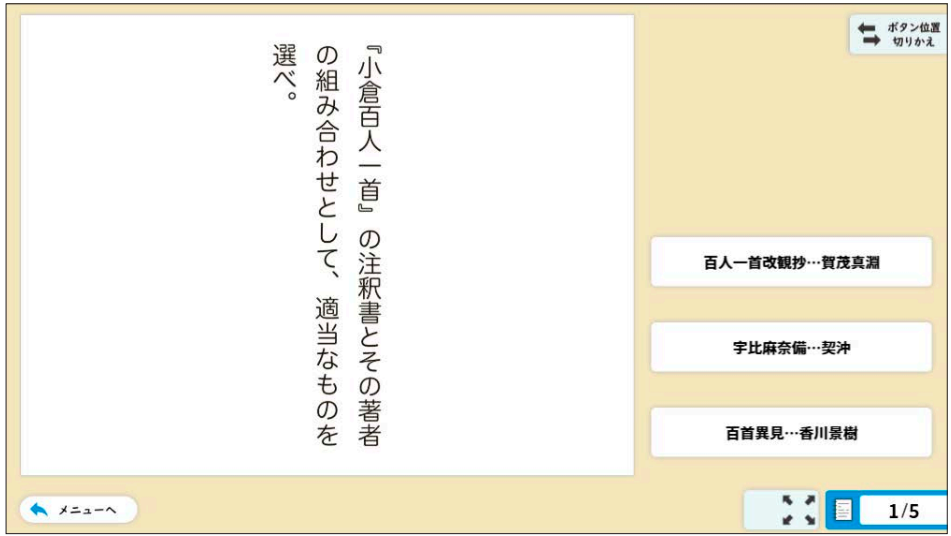
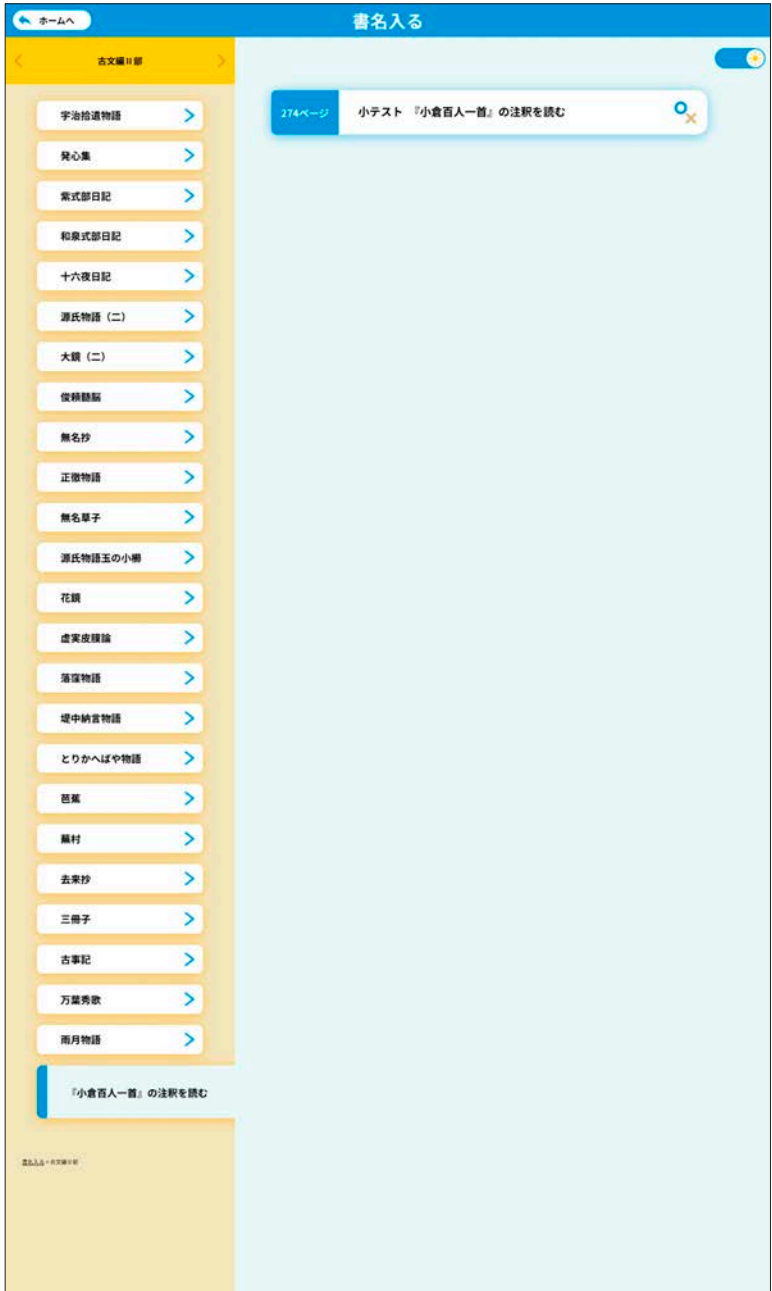
あれば

メニューへ 1/5

259 ページ 小テスト 万葉秀歌 「クイズ」



264 ページ 小テスト 雨月物語「クイズ」



274ページ 小テスト 『小倉百人一首』の注釈を読む 「クイズ」

ホームへ 書名入る

漢文編 | 部

- 小話 四編 >
- 近体詩 六首
- 日本の漢詩 二首 >
- 項羽 >
- 儒家の思想 >
- 小説 二編 >
- 古詩 四首 >
- 道家の思想 >
- 文 三編 >

288ページ やってみよう 押韻

288ページ 朗読 江雪〈書き下し文・中国語〉

289ページ 朗読 勳酒（予武陵）〈書き下し文・中国語〉

289ページ 朗読 碩中作〈書き下し文・中国語〉

290ページ 朗読 江南春〈書き下し文・中国語〉

290ページ 朗読 杜少府之任蜀州〈書き下し文・中国語〉

291ページ 朗読 黄鹤楼〈書き下し文・中国語〉

288ページ 小テスト 唐詩

288ページ 漢詩の形式ときまり

押韻
しやみあひしてしや

押韻している漢字を全て押そう。

江南春

千里鶯啼緑映紅
水村山郭酒旗風
南朝四百八十寺
多少樓台煙雨中

決定

288ページ やってみよう 押韻「シミュレーション」

289 ページ 朗読 磧中作 [音声]

磧^{せき}中^{ちゆう}作^{さく}
[書き下し文・中国語]
岑^{しん}参^{じん}

290 ページ 朗読 江南春 [音声]

江^{かう}南^{なん}春^{しゆん}
[書き下し文・中国語]
杜^と牧^{ぼく}

288 ページ 朗読 江雪 [音声]

江^{かう}雪^{せつ}
[書き下し文・中国語]
柳^{りゆう}宗^{そう}元^{げん}

289 ページ 朗読 勸酒 [音声]

勸^{かん}酒^{しゆ}
[書き下し文・中国語]
于^う武^ぶ陵^{りやう}

290
ページ
朗読
杜少府之任蜀州
〔音声〕

杜^と
少^{せう}
府^ふ
之^の
任^に
蜀^{しよ}
州^{しゆ}
王^{わう}
勃^{ぼつ}

〔書き下し文・中国語〕

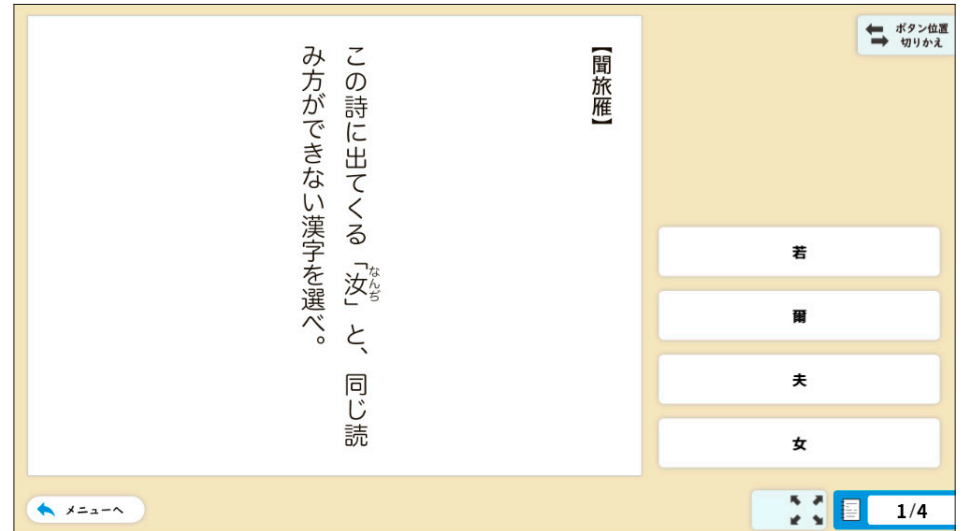
291
ページ
朗読
黄鶴楼
〔音声〕

黄^{くわう}
鶴^{かく}
楼^{ろう}
崔^{さい}
顥^{かう}

〔書き下し文・中国語〕



293ページ やってみよう 押韻「シミュレーション」



293ページ 小テスト 日本の漢詩「クイズ」

ホームへ 書名入

漢文編 | 部

- 小話 四編 >
- 近体詩 六首 >
- 日本の漢詩 二首 >
- 項羽
- 儒家の思想 >
- 小説 二編 >
- 古詩 四首 >
- 道家の思想 >
- 文 三編 >

298ページ 資料映像 司馬遷と史記

298ページ 小テスト 項羽

漢文編 | 部



298 ページ 資料映像 司馬遷と史記 「動画」

ボタン位置 切り替え

【鴻門之会】

次の傍線部のここでの意味と同じ使
い方ができる語句を選べ。

此。不^ンレ^レ然^ラ、籍^{セキ}何^{ナニ}以^{ヨリ}至^ル。

不者

不如

不敵

不能

メニューへ

01/14

298 ページ 小テスト 項羽 「クイズ」



314
ページ
資料映像
孟子
「動画」



314
ページ
孔門の十哲を語る
顔回
「動画」



314 ページ 孔門の十哲を語る 子路 [動画]



314 ページ 孔門の十哲を語る 子夏 [動画]

「子夏曰博学而篤志…」

次の傍線部の置き字の意味・用法として、最も適切なものを選べ。

博学 而 篤志

順接
逆接
比較
対象

ボタン位置
切り替え

メニューへ

01/22

314 ページ 小テスト 儒家の思想 [クイズ]

『論語』に伝わる 聖人

孔子

名：丘 (きゅう) 字：仲尼 (ちゅうじ)

前 551 年頃の生まれ
※司馬遷の「史記」による。

魯国 昌平郷出身

儒教の祖

名前の由来

伝承では、出生時に頭の形がへこんでいて、近くの「尼丘山」の形に似ていたため、名が丘、字が仲尼になったらしい。「仲」は一族の二番目の男の子の意。

憧れの人

憧れの人とは周公旦 (周の文王の子で武王の異母弟)。武王の死後、幼い成王の摂政を務め、孔子が理想とした周王朝の政治制度 (礼制) を確立した人。孔子は、乱世を治めるためには周の礼制度の再現が必要と考えていた。

学歴・職歴

| | |
|-----------------|--|
| 前 537 | 15 歳で「学に志す」。▶「論語」より |
| 前 525 頃 | 魯の役人 (倉庫管理官、牧畜官など) として就職。 |
| 前 517 ~ 前 515 頃 | 魯の内乱を避けて離職し、齊に留学。幾年か後、魯に帰国。弟子が増え始める。(顔回、子貢などの主要な弟子はこの頃入門。) |
| 前 501 | 魯の「中都」という地の長官に抜擢される。50 歳で「天命を知」り、自分の役目を自覚する。▶「論語」より |
| 前 500 | 外交の場で魯の首相を補佐して活躍。 |
| 前 499 | 魯の司法長官に就任する。魯を繁栄させる。 |
| 前 497 ~ 前 484 | 魯に失望し、辞職。魯から出国し、理想の実現を目指して他国へ就職活動の旅に出る。 |
| 前 484 | 魯に帰国し、弟子の教育に専念する。 |

生涯について

- 前 551 年、魯の昌平郷に生まれた。父、叔梁紇。母、顔徴在。3 歳の時に父が亡くなり苦労した。
- 前 533 年、19 歳で結婚。翌年、長男の「鯉」を授かった。
- 魯に失望して辞職し旅に出た際には、途中で数度、命を狙われた。
- 前 479 年、73 歳で逝去。(世に長く、人泣く、孔子亡く)

314 ページ 孔子カード [補足資料]

孔子の 後継者

孟子

名：軻 (か) 字：子輿 (しよ)

前 372 年頃の生まれ

魯国出身 ※魯の隣国

性善説

「孟母三遷」

孟子は幼い頃、墓場近くの住んでおり、葬式のまねごとをして遊んでいた。母は環境が悪いと考えて転居を重ねた末、学校の近くに定住した。母の教育熱心さを伝える逸話。

「孟母断機」

孟子は青年期、留学していたが、途中で故郷に帰ってきた。母親は機織りの手を止め、織りかけの布を刀でぱさぱさり切断了。驚き恐れる孟子に母は「途中で学問を投げ出すのはこれと同じことだ。」と説教し、孟子を発奮させた。子の学業不振を強烈な手法で戒めた逸話。

学歴・職歴

※年代、年齢、事項ともに諸説あり。

| | | |
|---------|-------|-----------------------|
| 前 350 頃 | 20 歳頃 | 子思 (孔子の孫) の弟子に学ぶ。 |
| 前 335 頃 | 35 歳頃 | 齊の都の臨淄に行き、「榑下の学」*に学ぶ。 |
| 前 320 頃 | 50 歳頃 | 梁の惠王と会見。▶「孟子」より |
| 前 310 頃 | 60 歳頃 | 滕の文公に厚遇される。▶「孟子」より |
| 前 305 頃 | 65 歳頃 | 故郷に帰り、弟子の教育に専念。 |

※齊の威王・宣王期 (前 350 年頃～前 300 年頃)、王は学者を優遇し、臨淄の榑門の近くに生まれ、その場所であえたため「榑下の学」と呼ぶ。

生涯について

- 生年、没年ともに不詳。ただし生年は「孟子」の記述から推定すると前 372 年頃か。
- 幼少期から青少年期にかけては、史実は見えていないが、「孟母三遷」「孟母断機」の説話が有名。
- 壮年期以降は、孔子の「自ら反てて精くんば、千万人と雖も善住かん」という言葉を胸に、王道政治の実現を目指した。
- 前 289 年頃、80 余歳で死去。

憧れの人

憧れの人孔子。「生誕地に近い」「最初の師が孔子の孫の弟子」「孔子の死の百年後に生まれた」などの理由から孔子を非常に尊敬し、後継者を自負。後世、孔子に次ぐ「亜聖」と呼ばれたのは、歴史がそれを追認した証。

314 ページ 孟子カード [補足資料]



荀子

じゆん し
もうし 孟子のライバル

名: 況

字: [未詳]

※荀国の公族の子孫のため「荀卿」「孫卿」とも呼ばれる。

戦国末期の生まれ

趙国出身

性悪説

性悪説

孟子の「性善説」を否定した荀子は、人間は先天的に悪であり、「礼」に基づく後天的な教育によってこそ、善なる存在になりうると主張した。両者とも儒家に分類され、乱世の終息を目指す目的も同じだったが、人間存在の本質に対する捉え方が正反対だった。

二人の弟子

後に始皇帝となる秦王政に法術思想を熱く語った韓非、始皇帝の宰相として帝国運営を支えた李斯。二人は荀子の弟子とされる（『史記』）。彼らは師の性悪説を継承したが、儒家の重んじた「礼」を捨て、絶対権力に基づく「法」のみを一律的に重視したのである。

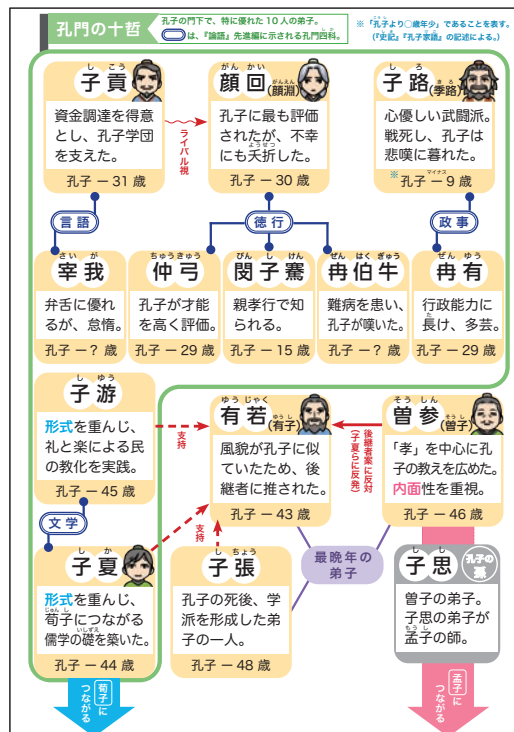
学歴・職歴

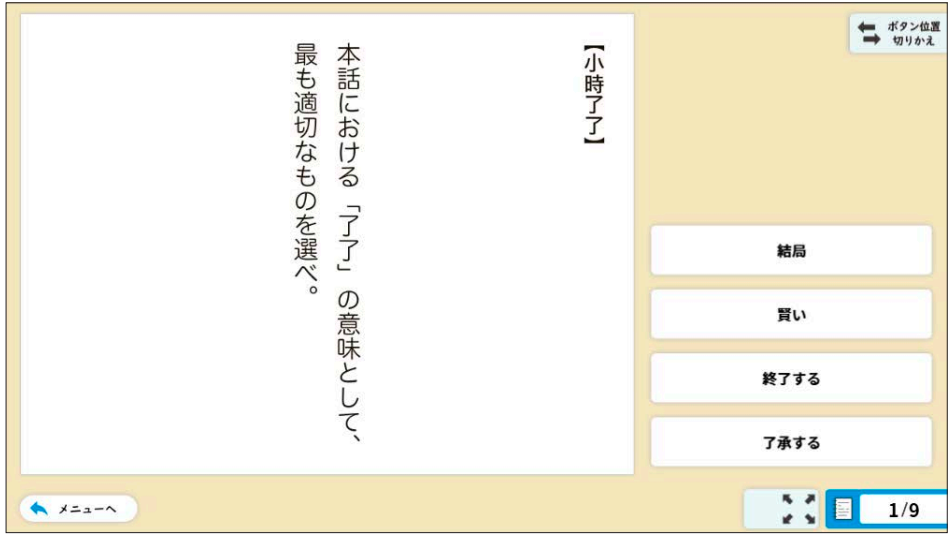
| | |
|---------|--|
| 前 278 頃 | 齊に行き「稷下の学」（孟子カード参照）に学ぶ。『史記』によれば、三度「稷下の学」の祭酒（学長）となった。 |
| 前 264 頃 | 齊を去って秦に遊説し、秦の政治家、応侯（范雎）と会談し、秦の欠点として儒者の不在を指摘。 |
| 前 255 頃 | 楚の政治家、春申君のもとに行き、蘭陵という土地の令（長官）となる。 |
| 前 238 | 春申君が暗殺され、荀子も命を免職される。 |

生涯について

- ・生没年とも未詳だが、没年は前 238 年（春申君の暗殺）から遠くない時期と考えられる。
- ・齊への最初の遊学を 15 歳とすれば、稷下の学では長年にわたってさまざまな思想家の考え方に触れ、切磋琢磨したと考えられる。現存の『荀子』にある、広範な分野にわたる知識の獲得と、議論対象を圧倒的に論破しようとする論の進め方は、この稷下の学で練りあげられた。
- ・現存の『荀子』には、学問論、自然論、礼論、富国強兵論などがあり、彼の知識の広大さと論証力の確かさを示している。他の思想家に対する批判は、孔子の孫の子思や孟子にまで及ぶ。なかには荀子に非難されたおかげで歴史に名が残る思想家もあり、諸子百家のラストランナーとしての皮肉な功績を残した。

314 ページ 荀子カード [補足資料]





328
ページ
小テスト
小説
「クイズ」

ホームへ

書名入る

漢文編 | 部

348ページ 小テスト 文

- 小話 四編
- 近体詩 六首
- 日本の漢詩 二首
- 項羽
- 儒家の思想
- 小説 二編
- 古詩 四首
- 道家の思想

文 三編

漢文編 | 部

老子

道家の祖

姓：李 名：耳 字：聃

生没年未詳

楚国 苦県出身?

無為自然の道

『老子』はベストセラー?

20世紀末から21世紀初頭にかけて、中国の出土資料の中から次々と『老子』が見つかった。これにより、『老子』は戦国時代後期にはすでに書物として出回っていたことが分かった。座右の書だったからこそ、故人といっしょに埋葬されたであろう。当時から、ある程度多くの人々に親しまれていたと考えられる。

巧妙な逆説的表現

『老子』第78章は、天下で最も柔らかい水が、堅くて強い者に勝つことを説く。成語の「柔よく剛を制す」の典拠とも言われる。章末では、正しい言説は逆説的なものだとされ、「大道廣れて仁義あり」「六親和せずして孝慈有り」とあるように、「仁義」や「孝慈」など、儒家が重んじる徳目が、強く否定されている。

生涯について

- 『史記』（老子韓非列伝）には老子の候補となる3人の人物が挙げられている。最も有力なのは老聃（李耳）であるが、生没年は未詳である。
- 老聃は、孔子が周を訪れた際に王室図書館の官吏を務めていたという。やがて、『道』『徳』上下2編5000字余りを書き残して立ち去ったとされる。その後の行方は誰も知らない。
- 『史記』が伝える5000字余りの『道』『徳』上下2編の書物は、現存の『老子』の上編を『道経』、下編を『徳経』として『老子道徳経』と呼ぶことと一致する。また、総字数の点でも合致する。

『老子』の思想

- 『老子』は、学術的には『史記』が記すような一人の人物が書きあげた書物ではないとされるが、その内容は、道家の祖と言われるように、宇宙は『道』という万物の根源から始まったという主張で一貫している。『道』に則したあり方としての『無為自然』が、何事においても主張される。『無為自然』とは、ことさらに人為を加えることなく自然に任せるということで、個人の生き方や国家のあり方は無為自然であるべきだと説かれる。
- 無為自然の対極にある教えとして否定されるのが、「こうあるべきである。～してはならない。」として教え導こうとする儒家の主張である。『老子』第18章に「大道廣れて仁義あり」「六親和せずして孝慈有り」とあるように、「仁義」や「孝慈」など、儒家が重んじる徳目が、強く否定されている。

340ページ 老子カード 「補足資料」

莊子

真の自由人

姓：莊 名：周 字：子休

生没年未詳

宋国 蒙出身

万物斉同の道

『老子』と『莊子』の“道”

『老子』と『莊子』はともに「道家」に分類されるが、語る「道」は微妙に異なる。『老子』は「道」を万物の根源として、その存在意義を主張する。『莊子』も「道」を万物の根源とするが、その認識の仕方に重点を置き、一切の価値的区別・差別が存在しない「万物斉同」こそが「道」であると説く。

隠者-老荘的な生き方

自然で自由であることを重んじる老荘思想では、世俗が求める富や高位高官が否定され、生き方としては世俗を離れた隠遁生活にたどり着く。後世の詩人、陶淵明が都を離れて送った農耕生活は、老荘思想の実践そのものだった。

生涯について

『史記』（老子韓非列伝）の莊周の伝記から、その生涯について、次のようなことをうかがい知ることができる。

- 生まれば蒙。前4世紀後半頃の戦国時代を生きた。
- 青年期に蒙の漆園の役人となった。
- 楚の威王の宰相としての招聘を辞退する「尾を塗中に曳く」の逸話などに見えよように、仕官の心を捨てて自由な生涯を送り、息曇と著述で身を終えた。

『莊子』の思想

『莊子』が著したとされるのが『莊子』である。現行の『莊子』は西晉の郭象の整理によるもので、全33編（内編7・外編15・雜編11）。他の諸子と同じように、莊周の自著はその部分かという議論は盛んだが、『万物斉同』の道を中心的に説く内編が、最も莊周の思想に近いという点には異論がない。『万物斉同』とは、『道は通じて一たり』（齊物論編）とされるように、「胡蝶の夢」（齊物論編）で説かれる夢と現実の区別や、生と死の区別など、世の中の相対的な区別を否定する主張である。

『文章は巧みで物事の本質を捉えており、儒家や墨家などの諸思想への批判も、比喩を交えていて分かりやすい。』『史記』は『莊子』を「大抵華々寓言なり」と評価し、『莊子』自体にも「寓言、十に九」（寓言編）と記述がある。『寓言』とは、主張を分かりやすく伝えるためのたとえ話・比喩のこと。『寓言』でも『莊子』はたとえ話の宝庫である。なかでも「渾沌」（庖丁解牛編）の巧みな比喩がよく知られている。

340ページ 莊子カード 「補足資料」

ボタン位置 切り替え

【無用之用】

道家の祖とされる人物として、最も適切なものを選び。

老子

莊子

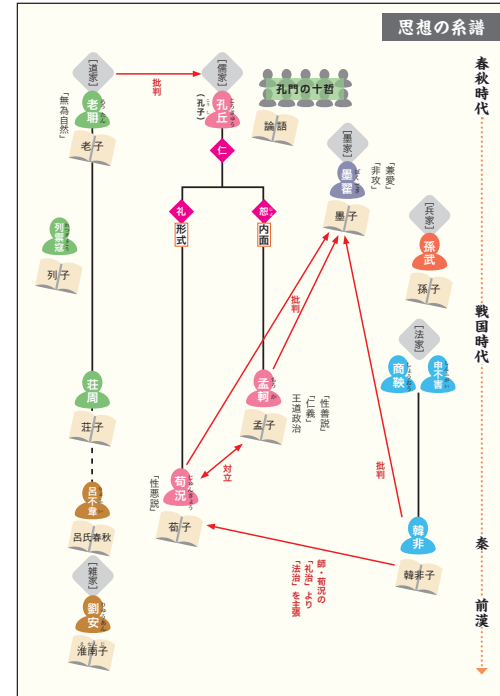
荀子

孟子

メニューへ

01/16

340ページ 小テスト 道家の思想「クイズ」



340ページ 思想の系譜「補足資料」

ホームへ 書名入

漢文編 | 部

小話 四編 >

近体詩 六首 >

日本の漢詩 二首 >

項羽 >

儒家の思想 >

小説 二編 >

古詩 四首 >

道家の思想 >

文 三編

348ページ 小テスト 文

書名入 | 漢文編 | 部

メニューへ 01/10

ボタン位置 切りかえ

【漁父辞】

屈原が活躍した時代として適切なものを選び。

戦国時代

三国時代

前漢 (西漢)

西周時代



358 ページ 「三国志」の英雄を語る 曹操 [動画]



358 ページ 「三国志」の英雄を語る 孫権 [動画]



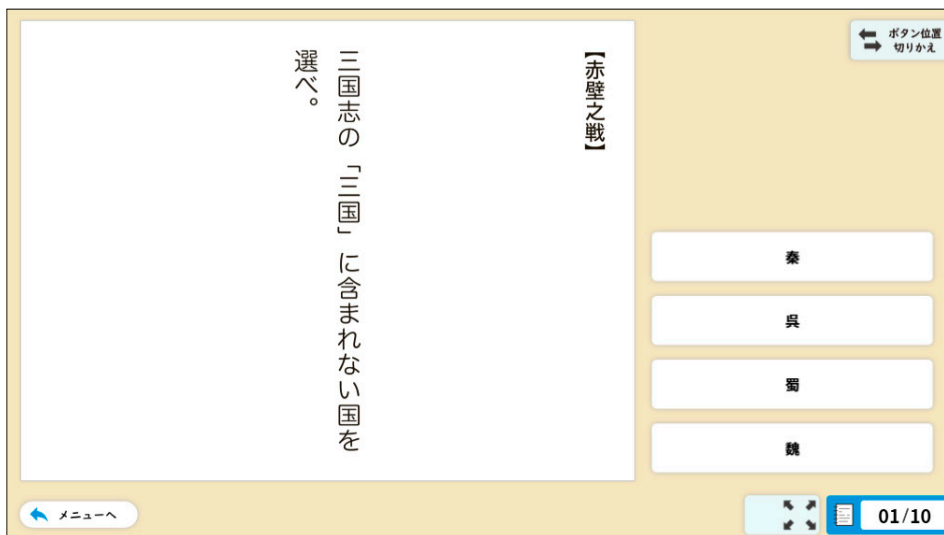
358 ページ 「三国志」の英雄を語る 劉備 [動画]



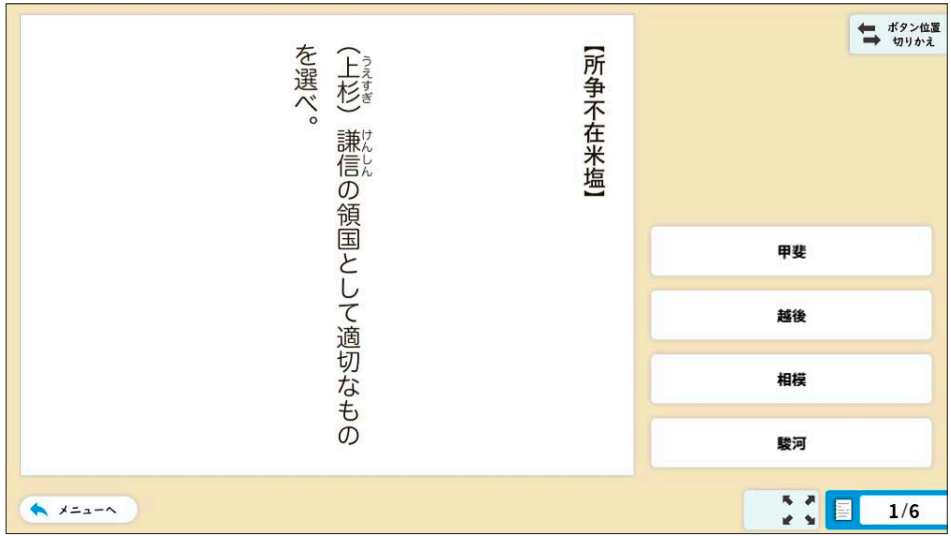
358 ページ 「三国志」の英雄を語る 諸葛亮 [動画]

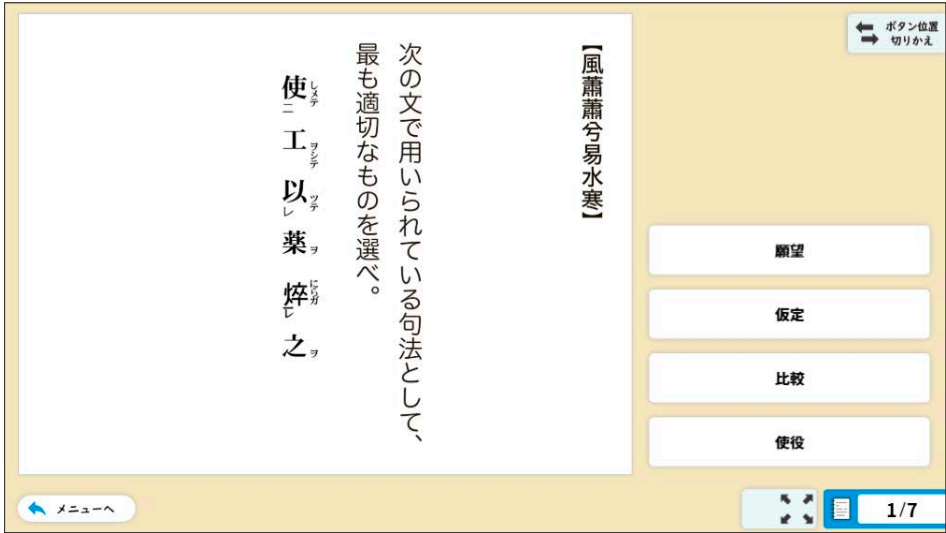


358 ページ 「三国志」人物相関図 [補足資料]



358 ページ 小テスト 三国志の世界「クイズ」





ホームへ 書名入る

漢文編目部

- 三国志の世界
- 日本外史
- 李白と杜甫
- 荊軻伝
- 韓信伝
- 白楽天
- 和漢朗詠集
- 小説 二編
- 諸子百家
- 唐宋八大家の文章

388ページ 小テスト 韓信伝

ボタン位置 切りかえ

「淮陰侯」とは誰のことか。

【俛出袴下】

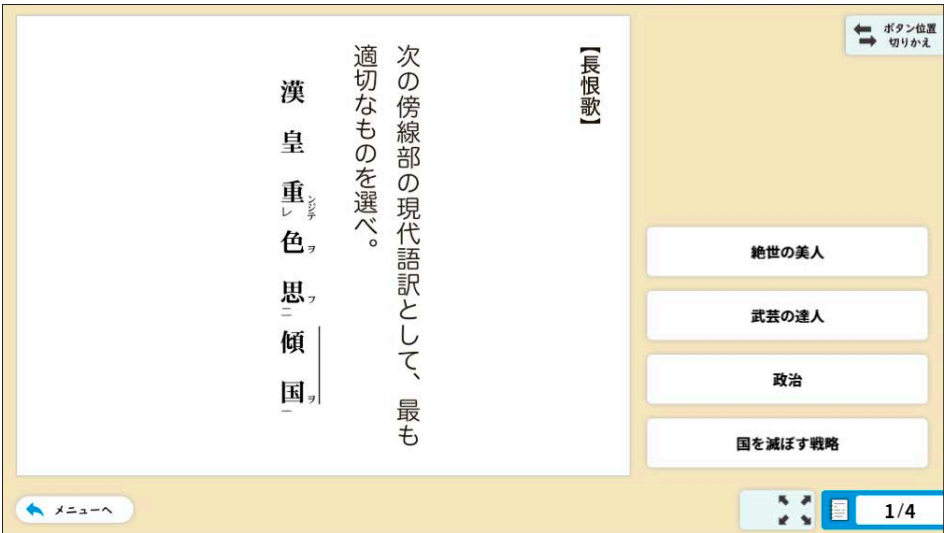
- 項羽
- 劉邦
- 韓信
- 張良

メニューへ 01/12

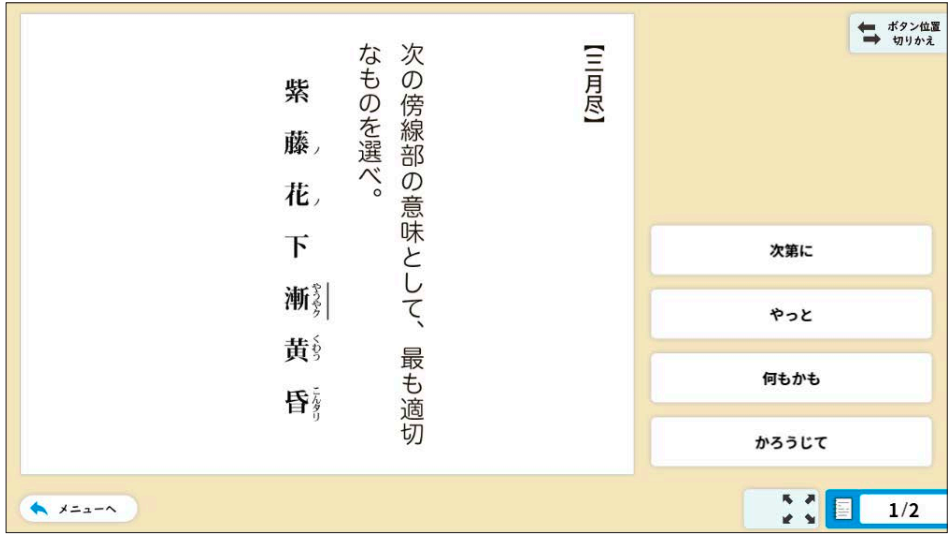
388 ページ 小テスト 韓信伝「クイズ」



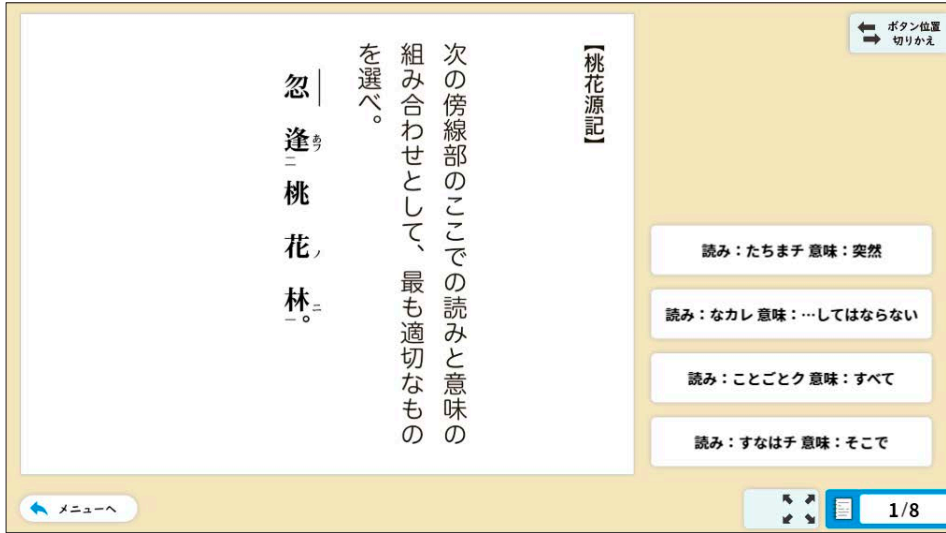
396 ページ 朗読 長恨歌 [音声]

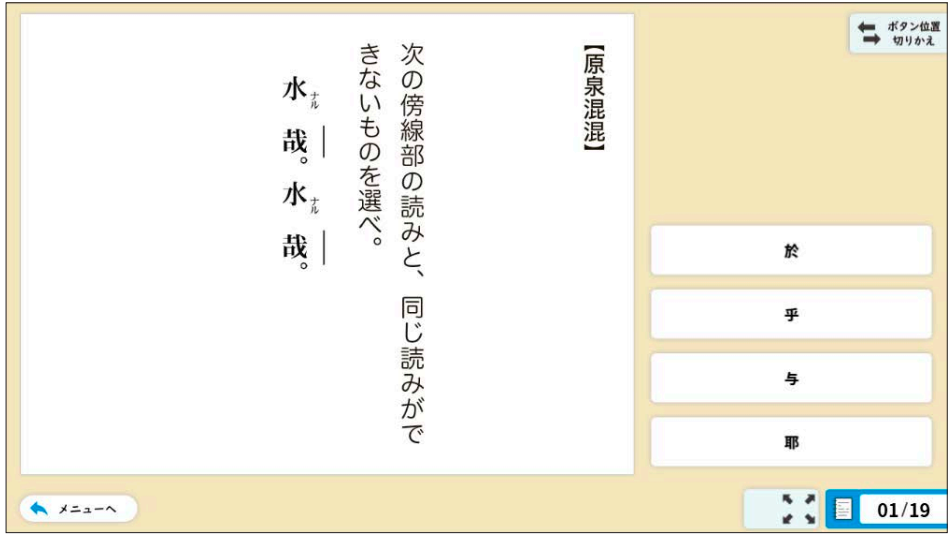


396 ページ 小テスト 白楽天 [クイズ]

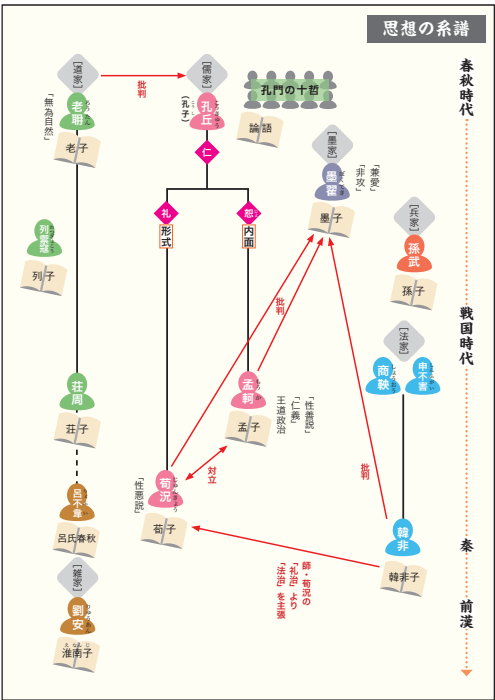


404 ページ 小テスト 和漢朗詠集「クイズ」

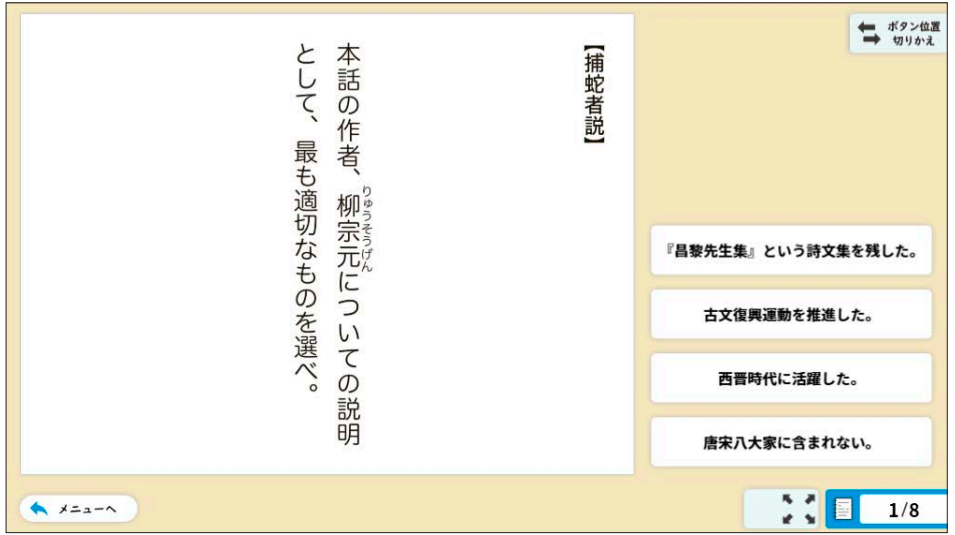




418 ページ 小テスト 諸子百家「クイズ」



418 ページ 思想の系譜「補足資料」



430ページ 小テスト 唐宋八大家の文章「クイズ」

ホームへ

書名入る

用言活用表

- 助動詞活用表
- 助詞一覧表
- 敬語
- 日本古典文学史年表
- 漢文句法・重要語のまとめ
- 中国文学史年表
- 古典参考図録

品詞分類表

- 439ページ 品詞分類表
- 439ページ 品詞分類表
- 439ページ 動詞活用表
- 439ページ 動詞活用表
- 439ページ 形容詞活用表
- 439ページ 形容詞活用表
- 439ページ 形容動詞活用表
- 439ページ 形容動詞活用表

品詞分類表

古典文法の確認

単語

自立語か
付随語か

活用するか

主語・述語になるか
修飾語になるか

どんな文節になるか
何を修飾するか

接続するか

言い切りの形

品詞名

語例・文節

全表示

非表示

語

活用

活用

活用

活用

ならない

になる

になる

修飾語に

修飾語に

修飾する

修飾する

接続

接続

の音

思ふ来^レ構^フづ

少な^シうつく^シ・

静かな^リ・堂々^{タ^リ}

花^ハ・歌^カ・年^{ネン}・源^{ゲン}氏^シ

しば^し・よ^も

ある^いはゆる

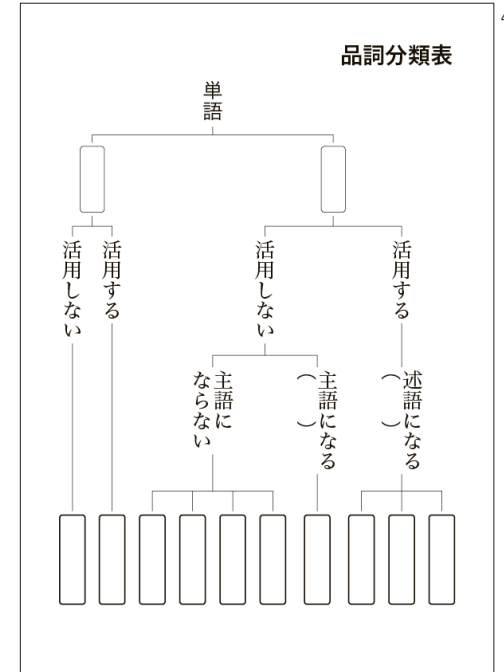
かく^て・さ^て

あな^いぎ^えい

きけ^りなり

が^すら^んども

439ページ 品詞分類表「シミュレーション」



439ページ 品詞分類表「ワークシート」



古典文法の確認
助動詞活用表

| | | |
|----|----|--------|
| 過去 | | 助動詞の種類 |
| けり | ぎ | |
| 意味 | 意味 | |
| | | 未然形 |
| | | 連用形 |
| | | 終止形 |
| | | 連体形 |
| | | 已然形 |
| | | 命令形 |
| | | 活用の型 |
| | | 接続 |

過去

完了

打消

自発・可能
受身・尊敬

使役・尊敬

推量

打消推量

推定

推定・伝聞

断定

希望

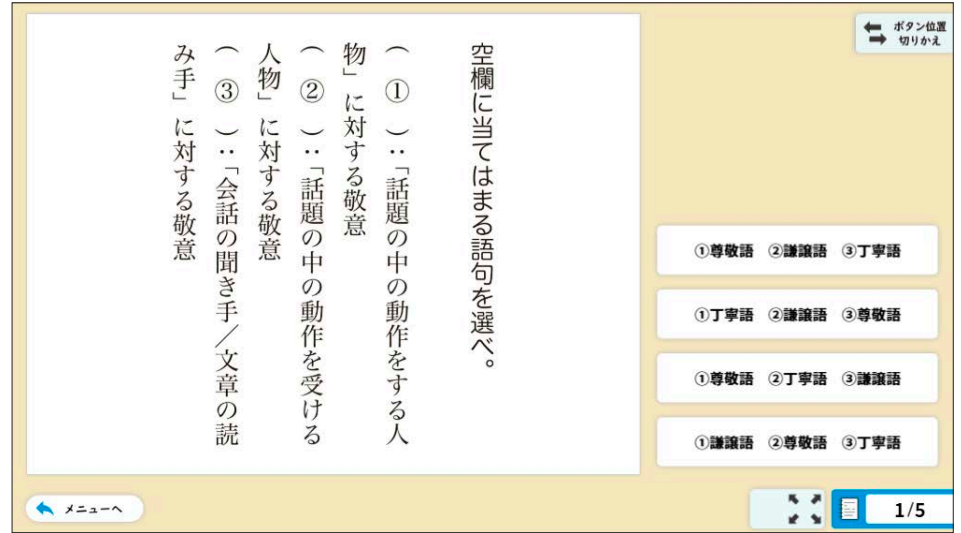
比況

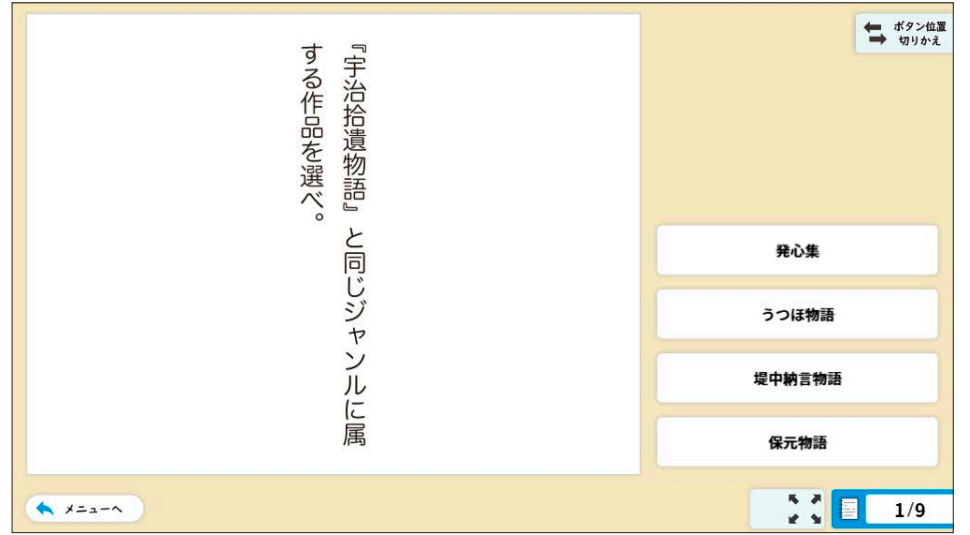
440ページ 助動詞活用表「シミュレーション」

助動詞活用表

| | | | | | | | | | | | |
|-----|---|----|-----|----|---|----|----|---|----|---|----------|
| まほし | じ | まし | んむず | んむ | ず | しむ | さす | す | らる | る | 助動詞 |
| | | | | | | | | | | | 意味 |
| | | | | | | | | | | | 未然形 |
| | | | | | | | | | | | 連用形 |
| | | | | | | | | | | | 終止形 |
| | | | | | | | | | | | 連体形 |
| | | | | | | | | | | | 已然形 |
| | | | | | | | | | | | 命令形 |
| | | | | | | | | | | | 活用 の型 |
| | | | | | | | | | | | 接続 |

440ページ 助動詞活用表「ワークシート」





448
ページ
小テスト
日本古典文学史「クイズ」

ホームへ

書名入る

452ページ 小テスト 句法・重要語

用言活用表

助動詞活用表

助詞一覧表

敬語

日本古典文学史年表

漢文句法・重要語のまとめ

中国文学史年表

古典参考図録

ボタン位置
切りかえ

禁止の句法「母…」(…するな。
…してはならない。…)と同じ使い
方ができる漢字を選べ。

莫

非

不

未

メニューへ

1/8

452
ページ
小テスト
句法・重要語
「クイズ」

